

令和4年度 藤枝順心中学校・高等学校 学校評価

建学の精神 女性の自律・自主と先度他の心の涵養				
教育目標 白梅精神のもと、「清楚な生徒」、「芳香を発する生徒」、「忍耐のできる生徒」を育てる。				
本年度の重点目標 ①学習指導の充実 ②進路指導の充実 ③生活指導の充実 ④情報発信の充実 ⑤健康管理 ⑥安全管理				
重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
①学習指導の充実	授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試改革に向けて、アクティブラーニング、ICTを利用した授業を実践する。（各教科で研究授業を行い、全職員で検討を行う。） ・令和4年度入学生から実施する「総合的な探究の時間」で使用する探究プログラム（ぼらぷら）を有効に活用し、生徒が自ら課題を発見し、解決していくための資質・能力を育てる。 		
	ICT教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教室に電子黒板を設置し、教員側が日常的にICT機器を活用した授業を展開できるようにする。 ・生徒の端末を授業等で活用する場面を積極的に設けることで生徒のICTスキルの向上を図る。（電子教科書、スタディサプリ、googleフォーム、オンライン授業など） 		
②進路指導の充実	進学指導	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学&中堅以上私大（河合塾全国偏差値47.5以上）へ7名以上合格させる。【一般・推薦・総合型選抜を問わず】 ・高3生への面接・小論文指導を強化する。「チューター制（同じ教員が担当）」で行う。 ・学力向上、進研模試で全国偏差値50以上の生徒を総進は10%以上、特進は50%以上育てる。 ・基礎力診断&スタディサポートの事前対策を重視する。ベネッセハイスクールオンラインを教員がもっと有効活用し、Bゾーンを増加させ、Dゾーンを減少させる。 ・スタディサプリ活用を強化する。到達度テストに向けて各学年で計画を立て、家庭学習やHR活動等で利用させる。高3生は受験&入社試験対策でも活用させる。 ・個別指導学習を強化する。志望校が決まっている生徒には夏休み前から受験指導を実施する。推薦希望者の生徒も一般入試を見据えた指導を行う。 ・学習習慣を定着させる。スコラの活用を強化する。 ・進路目標づくりを充実させる。進路ガイダンス・適性検査・進路希望調査・オープンキャンパスを融合させる。 		

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
②進路指導の充実	就職指導	<ul style="list-style-type: none"> 自分に合った、自分のやりたい仕事は何かをよく考え、企業研究を十分に行う指導を実践する。 3年後の就職を意識させ、3年間を見通した指導計画を提示する。 企業に来校していただき、生徒が希望する企業から説明を受ける機会を設ける。(14社予定) 同友会主催のオンラインによる企業説明会に積極的に参加させる。 企業訪問や卒業生、行政機関、企業採用担当者等の講話を通して、企業への理解を深め、社会人になることへの意識高揚を図る。 徹底した面接指導及び基礎学力の充実を図り、希望する会社への内定を勝ち取る。 		
③生活指導の充実	礼法指導	<ul style="list-style-type: none"> 礼法教育の実践として、次の指導を行う。 <ol style="list-style-type: none"> ①校長講話による「本校の伝統や心の整え方」の学習。感想を書くことによる振り返り。 ②「your steps」に従った美しい所作。(初期指導、HR活動や学年集会、礼法授業) ③会釈、挨拶の励行。(朝終礼や登校時の挨拶、呼名された時の返事や姿勢、授業の前後の挨拶) ④食事作法を実践できる会食。(姿勢や作法) ⑤校風向上週間やマナーアップを通しての清楚な着こなし。 		
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 「順心生としての自律」をめざして次の指導を行う。 <ol style="list-style-type: none"> ①清掃活動や整理整頓を通じた環境美化。私物の管理や清潔な生活感覚の育成。Clean up guidance にしたがって清掃。(スマホについては朝礼時に電源OFFを確認して収納庫へ入れ、終礼時に自分のものを取り出す) ②生徒会活動を通して愛校心の育成。週番活動を通して校風高揚に貢献する姿勢の育成。 ③登下校時における社会ルールやマナーの遵守。(スマホを使用する時の周囲への配慮) 「情報収集→まとめ→分析→報告」を確実にやり、教師相互の共通理解を図り、指導にあたる。 一報を通して迅速な情報共有に努め対策を講じる。 		
④情報発信の充実	学級通信 学年通信	<ul style="list-style-type: none"> クラス・学年の様子を伝えるため、年間で12回(平均して月1回)程度発行する。 		
	HP・SNSの活用	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを随時更新し、最新の情報発信に努める。きずなネットを有効活用できるように職員研修会を開催し、利用できる職員を増やす。 		

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
⑤健康管理	保健管理 保健教育 健康相談	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を含めた日常の健康観察の実施（個人健康観察表・クラス健康観察カード） ・新型コロナウイルス感染症に対するガイドラインの作成と状況に合わせた検討 ・健康相談の充実を図り、生徒の支援を行う。その際、必要に応じスクールカウンセラーとの連絡を密にする。 ・感染症等の状況や生徒の成長、実態に即した健康教育の実施 		
⑥安全管理	避難訓練 防災体制 の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や集団下校訓練、防災講話、消火訓練等を実施し、生徒の防災意識や危機管理意識を高める。（7月、12月） ・職員を対象に消火訓練や救急対策講習会等の訓練を実施し、職員の防災意識や危機管理意識を高める。 ・災害時の職員の役割分担の周知徹底を図る。（7月職員研修） 		